

## 筑波大院生の授業「新鮮」

小海高生 浮世絵の背景など学ぶ



模擬授業で生徒に語りかける  
筑波大大学院の渡辺さん(左)

筑波大大学院（茨城県つくば市）で教員を目指して学ぶ学生ら22人が29日、小海町の小海高校を訪れて模擬授業などを通じて生徒と交流した。同大学院の学生は伊藤純郎教授（61）＝日本近現代史＝が引

率し、毎年授業の一環で佐久地方を訪れており、同校との交流は2001年から続いている。

同大学院2年の渡辺裕明さん24らは3年生29人に日本史の模擬授業を実施。川中島

の合戦を勇壮に描いた江戸時代後期の浮世絵を用意し、描かれた時代背景を生徒へ問い掛けた。生徒は当時欧米諸国が日本に軍事的圧力をかけていたことなどを資料から読み解き、「（浮世絵は）日本が強いことを強調しなかったのではないか」など意見を出した。

渡辺さんらは、外国への対抗意識が背景にあるとし「絵には作者の考えや時代背景が反映される」と話した。授業を受けた高見沢斗真さん（17）は「絵から作者の意図を読み取る授業は新鮮だった」と話していた。

このほか、進路を決める際の目標の定め方や自己分析の仕方などを学生が教える授業も行われた。